

○11 番（宮原隆昌君）

11 番宮原です。

小瀬の重岩の安全対策について質問いたします。

土庄町の代表する観光スポットである小瀬の重岩は、平日でも多くの観光客が訪れています。アニメ「からかい上手の高木さん」の舞台やテレビ CM などの影響が考えられますが、訪れた方が瀬戸内海の絶景や神秘の大岩に感動して、SNS 等でアップしている記事が多く見られます。土庄町、そして小豆島観光協会でも、ホームページや、観光パンフレットにて重岩の魅力を発信しておりますが、現在の重岩参道は大変危険な状態にあります。小瀬自治会が管理している重岩不動さんまでは、階段と手すりが設備が整備されておりますが、そこから重岩までの一部の参道は深く侵食され、安全対策の鎖の支柱はぐらぐらです。さらに、フェリーからよく見えますが、頂上北西側の碎石跡は石を切ったように滑落し、通り道から 1.5m 横は、垂直な高さ 10m 以上の断崖になっており、さらなる崖の滑落の心配や、もし観光客が鎖の外に出て落ちたら大怪我では済まないという大変危険な状態です。

過去、安全対策として鎖等を設置した経緯がありますが、持続可能な観光地としての小豆島に重大な事故が起これば、観光のイメージダウンになりかねないと考えます。

それでは最初の質問です。年間何人の観光客が重岩を訪れておりますでしょうか。

○議長（濱野良一君）

商工観光課長 蓮池幹生君。

○商工観光課長（蓮池幹生君）

宮原議員のご質問にお答えいたします。

年間何人の観光客ということでございますが、環境省の調べによりますと、2023 年 5 月から 2024 年 5 月までの 1 年間に、約 3 万 3000 人ほどと伺っております。これ観光客だけじゃなくてですね、地元の方や、参拝者なども含まれるものというふうに推察されます。

○議長（濱野良一君）

宮原隆昌君。

○11 番（宮原隆昌君）

ありがとうございます。課長の答弁のように令和 5 年 5 月 8 日から、去年の令和 6 年 5 月 7 日までの 1 年間、これ重岩周辺の瀬戸内海国立公園の指定の検討のために、今言われた環境省四国事務所 国立公園課が中腹にセンサーを設置しまして、正確な人数を数えております。1 年間で 3 万 3561 人、1 日平均約 100 人が来ているような勘定になります。多いときには 1 日 600 人の日もあつ



ど、整備も簡単には進まないといった側面もあります。

町といたしましては、注意喚起の表示などで、危険箇所があることを、改めて周知徹底し、危険箇所には決して近寄らないなどの自己防衛を呼びかけるとともに、現地を確認した上で、支柱の補修など、町としてできる安全対策について、地元自治会や地権者のご理解をいただきながら進めてまいりたいというふうに考えております。よろしく申し上げます。

○議長（濱野良一君）

宮原隆昌君。

○11番（宮原隆昌君）

小豆島の他の山岳霊場は、岩場が多いんですけれども、重岩の頂上付近は、花崗岩の風化した水はけのいい真砂土となっております、他とは全く違います。先ほど課長が言われてましたように、再度安全確認のためにですね、地質の専門家に一度相談した方がいいと思います。

いずれにいたしましても、8月からの瀬戸芸の夏会期には大勢の観光客が見込まれます。戸形地区活性化協議会もできておりますので、対応策を早めに相談していただければと思います。

以上、安心安全な観光地を願いまして、質問を終わります。ありがとうございました。